

鉄道建築協会主催 えきまち委員会 第1回 えきまちシンポジウム

駅とつながる、まちの未来 ~STATION SHIFT~



撮影:アイフォト/伊藤彰



撮影:アイフォト/伊藤彰

開催 2026年10月1日(木)・2日(金)

1日目午後 シンポジウム・交流会
2日目午前 現地視察 (広島新駅ビルminamoa 他)

会場 シンポジウム：広島県民文化センター

広島市中区大手町1丁目5-3 多目的ホール (広島駅より電車で約15分)

交流会：ホテルグランヴィア広島

広島市南区松原町1-5 大宴会場『悠久』(広島駅直結)

↓参加お申し込みはこちらから↓



二次元バーコードを読み取ると Microsoft Forms
参加申し込みフォームにアクセスします
<https://forms.office.com/r/Yi5K4DTEif>

企画趣旨

「駅は、建築物であり、交通結節点であり、同時に「まちの価値を決める中心」である」

近年、駅は単なる施設や交通の結節点にとどまらず、駅前広場、街路、公共空間、周辺市街地、エリアマネジメント、民間開発まで含めて、都市や地域の価値そのものを左右する存在となっています。

本シンポジウムは、駅を「建築」や「交通施設」という従来の位置づけから一歩進め、駅・駅前広場・街路・公共空間・市街地を一体で捉える「駅まち空間」という考え方のもと、駅を都市・地域の価値創造を牽引する拠点へと再定義することを目的として開催いたします。

まず国が示している「駅まち空間」の考え方を正しく理解することを出発点とし、その後のパネルディスカッションおよび現地視察を通じて、その考え方が実際の都市空間においてどのように具現化されているかを検証する構成としております。

第1部 基調講演

「駅まち空間の現在地と都市デザイン~これからの駅まちデザインを考える~」

講演者:国土交通省 都市局 街路交通施設課長 筒井 祐治 様

第2部 講演及びパネルディスカッション

「交通結節点 × 公共空間 × 駅ビルの一体再編

~都市機能の再配置で何が起こるか?~」

◇PART I 講演

「広島市まちづくりの歴史を紐解く~広島広域都市圏・楕円形の都心づくりの戦略的構築」

講演者:広島市都市整備局都市機能調整部都心まちづくり担当課長 水口 直也 様

◇PART II パネルディスカッション

「広島駅南口の機能再配置によるインパクト~実現までの道のりに何があったか」

モデレーター: (株)荒谷建設コンサルタント 経営本部まちづくり企画室理事 田坂 逸朗 様

パネリスト1: 西日本旅客鉄道(株)大阪工事事務所広島建築工務所長 田原 潤一 様

パネリスト2: 広島電鉄(株)電車事業本部電車技術部部長 八木 秀彰 様

パネリスト3: 広島市都市整備局都市機能調整部都心まちづくり担当専門員 日向 誠 様

◇PART III パネルディスカッション番外編(現在内容を検討中)

- ・プログラム・登壇者等は変更の可能性がございます。なお登壇者の所属・役職は2026年4月時点のものです。
- ・今回のシンポジウムは現地開催のみとなります。WEB開催はございません。
- ・シンポジウムの詳細(開催場所、プログラム詳細、募集時期&締切り等)は、今後鉄道建築協会HPまたは鉄道建築ニュースにて随時ご案内致しますのでぜひご確認ください。(http://www.aran.or.jp/)

[参加費用 鉄道建築協会会員：15,000円 ビジター：20,000円]

- ・個人会員の方及び法人会員の組織・団体に所属する方は会員価格にてご参加いただけます。
- ・また、参加申し込みと合わせて入会申し込みをいただいた場合、会員価格にてご参加いただけます。
- ・参加費用には交通費・宿泊費は含まれません。シンポジウムまたは交流会いずれか一方のみご参加の場合も上記金額となります。